

# 文書質問整理表

令和2年5月に開催予定としていた閉会中常任委員会の代替とし、奈良市議会基本条例第21条第1項の規定に基づいて行った文書質問の質問内容と回答、またそれに対する意見・要望は次のとおりである。

常任委員会名 : 厚生消防委員会  
質問者 : 酒井孝江

## 1、質問内容及び回答

回答者：福祉部長

(担当課：福祉政策課)

新型コロナウイルス対策について	<p><b>【質問の具体的内容】</b></p> <p>以前も述べましたが新型コロナウイルスは、通常の風邪ウイルスと違い気温が上昇しても感染力が落ちないと指摘しましたがまさにそのような状態です。</p> <p>幸い非常事態宣言と3密対策や営業自粛の効果は上がっていて、何とか抑え込みつつあります。</p> <p>だが、5月14日の解除を目指してすでに国で話し合いがもたれています。</p> <p>この状況を踏まえてお聞きします。</p> <p>①コロナ格差が報道されています</p> <p>通常格差で困っている所が働けなくてより格差が広がっています。対策が必要ですが、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>⑤巣籠り生活で体調崩す対策</p> <p>巣籠り生活で体調崩す市民が多くなると新聞などで警鐘がされています。</p> <p>そこで質問です。</p> <p>●市民への対策や注意喚起が必要だと思いますがどのようにお考えでしょうか、質問します。</p> <p><b>【回答内容】</b></p> <p>①コロナ格差が報道されています</p> <p>通常格差で困っている所が働けなくてより格差が広がっています。対策が必要ですが、どのようにお考えでしょうか。</p>
-----------------	---

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による経済的な影響についてはマスクミなどの報道でも大きく取り上げられ、市民の皆様から数多くご相談をいただくなかで、生活困窮世帯が増加していると認識しております。

生活困窮に関する相談窓口といたしましては、奈良市社会福祉協議会や福祉政策課のくらしとしごとサポートセンター、保護課などが中心となって状況に応じた対応を行っております。

奈良市社会福祉協議会では、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々へ、生活福祉資金貸付制度があり、緊急小口資金と総合支援資金で対応しております。

また、くらしとしごとサポートセンターでは、働きたくても働けない、失業により家賃が払えない、家族のことで悩んでいるなど、暮らしや仕事に困りごとを抱えている方、そのご家族などからの相談を専門の相談員がお聞きしています。

保護課では、資産や能力などあらゆるものを活用してもなお生活に困窮する方に対して、その困窮の程度に応じて必要な支援を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立に繋がるよう支援を行っております。

#### ⑤巣籠り生活で体調崩す対策

巣籠り生活で体調崩す市民が多くなると新聞などで警鐘がされています。市民への対策や注意喚起が必要だと思いますがどのようにお考えでしょうか、質問します。

新型コロナウイルスが猛威を振るっている間、市民の皆様には感染予防、感染拡大防止のため不要不急の外出は控えていただくようお願いしており、特に、重症化しやすい傾向にある高齢者や妊婦、基礎疾患がある方などには注意喚起を行ってきました。

一方で、高齢者については、家に閉じこもり、一日中テレビを見ているなどの動かない生活を続けていると、歩くことや身の回りのことなどの生活動作が行いにくく、疲れやすくなるといった健康への影響が危惧されます。

そのため、ホームページや自治会向けのチラシ等において、「新型コロナウイルスの影響による運動不足解消」として、自宅でできる簡単な運動を紹介させていただいております。また、チラシにおいては、しっかり食事を摂り栄養をつけて免疫力を維持することや、電話等を活用して人と会話をさせていただけるよう、併せて啓発を行っているところであります。

回答者：子ども未来部長

(担当課：子ども育成課、子育て相談課)

新型コロナウイルス対策について

**【質問の具体的内容】**

以前も述べましたが新型コロナウイルスは、通常の風邪ウイルスと違い気温が上昇しても感染力が落ちないと指摘しましたがまさにそのような状態です。

幸い非常事態宣言と 3 密対策や営業自粛の効果は上がっていて、何とか抑え込みつつあります。

だが、5 月 14 日の解除を目指してすでに国で話し合いがもたれています。

この状況を踏まえてお聞きします。

②母子家庭等が困っている状況の調査について

これは 5 月の臨時会でも質問しましたが、母子家庭は元々非正規雇用の方が多いといわれており、新型コロナでの外出自粛により多くの人が仕事を休業しなければならない状況ではないかと思えます。このようなひとり親の実態について、アンケートなど調査してほしいと思えますが、どのようにお考えでしょうか。

⑥5 月 1 2 日の第 7 回奈良市新型コロナウイルス対策本部会議の報道資料で

「両親共に新型コロナウイルス感染症に感染し入院等が必要な場合の対応については、市有施設を活用し 2 家族まで預かる体制を確保した。また、中学生以上で自宅において生活できるケースには、安全確認・相談支援・食事提供等の支援を行う。」とありますが、その内容を教えてください。

⑦コロナで自宅にいる時間が増え、虐待が増えていると指摘されています。状況を把握されているでしょうか。また、学校等再開後の支援はどのように現状を把握し、支援を開始されるのでしょうか。

**【回答内容】**

②母子家庭等が困っている状況の調査について

この度の新型コロナウイルスの影響による、ひとり親等の支援の必要性につきましては、認識しており、児童扶養手当受給者に対して臨時特別給付金を 5 月 1 1 日に支給したところでございます。

どのような影響が及んでいるのかなど、状況の把握につきましては、ひとり親等を対象としたアンケートを実施し、雇用形態や新型コロナウイルスの影響について調査してまいりたいと考えております。

⑥両親共に新型コロナウイルス感染症に感染し入院等が必要な場合の対応について

保護者が新型コロナウイルス感染症に感染し入院治療が必要となり、子どもを親族等に預けることができない場合の、本市の支援といたしましては、子どもの預かり支援と在宅支援がございます。子どもの預かり支援については、原則小学生以下の子どもを市の施設で市職員が24時間常駐して預かり、食事や入浴を補助するとともに健康管理や子どもからの相談にも対応いたします。また、在宅支援では、原則中学生以上の子どもについて、市職員が自宅に電話若しくは訪問し、健康相談や安全確認、食事の提供を行います。

⑦現在の虐待の状況と学校等再開後の支援について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学校等が休業となり、子どもの見守り機会が減るにつれ、児童虐待の増加が危惧されるところです。児童虐待相談対応件数につきましては、学校等の休業が開始された3月は53件、4月は104件となっており、前年と比べ3月に関しては18件の減少、4月に関しては6件の増加となっております。本市におきましては、令和2年4月27日付け国から示されている「子どもの見守り強化アクションプラン」に則り、関係機関と協力しあいながら、訪問等による支援の必要な家庭や子どもの状況把握とともに、学校再開に向け5月25日から週2回の準備登校が始まっていることから、関係機関と緊密に連携しながら、子どもからの相談や身体状況等の把握、丁寧な見守り等を行い、児童虐待の未然防止に取り組んでおります。

回答者：健康医療部長

(担当課：医療政策課、保健予防課)

新型コロナウイルス対策について

**【質問の具体的内容】**

以前も述べましたが新型コロナウイルスは、通常の風邪ウイルスと違い気温が上昇しても感染力が落ちないと指摘しましたがまさにそのような状態です。

幸い非常事態宣言と 3 密対策や営業自粛の効果は上がっていて、何とか抑え込みつつあります。

だが、5 月 14 日の解除を目指してすでに国で話し合いがもたれています。

この状況を踏まえてお聞きします。

③医療用マスクとガウン

先日奈良市周辺の大病院の看護師から 4 月末に悲鳴のような声を聴きました。医療用マスクが不足して繰り返し使っているがあまりに危険で困り果てているというのです。ただし一般のマスクは 5 月初めに中国の製造が再開されて大量に出回っていると関西や関東の話として報道されているのでおそらく大丈夫だと思います。また医療用ガウンは広陵町の企業が国の要請に応じて製造したのですが、販売ルートが大阪府枚方市にしかなく、そちらの病院などに販売されてしまいました。病院ということで奈良市立病院の状況が気になります。そこで質問です。

●奈良市立病院の医療用マスクやガウンは足りているのでしょうか、お聞きします。

④災害避難所対策

暑くなる中で、コロナ対策で 3 密にならないよう呼びかけられています。しかし災害での避難所は、まさに体育館などに詰めねばならず 3 密そのものとなります。そこでお聞きします。

●コロナ対策の 3 密を避けねばなりません、どのように避難所では対策を取っておられるのでしょうか、お聞きします。

**【回答内容】**

③奈良市立病院の医療用マスクやガウンは足りているのでしょうか

市立奈良病院の医療材料については、毎日のデータ報告により在庫状況を確認しております。現在、医療用サージカルマスクの在庫は足りておりますが、ガウンについては若干不足している状況となっております。現在各方面からマスクをはじめとする医療材料のご寄付をいただいておりますが、市立奈良病院

	<p>のほか市内の医療機関にも状況に応じて配布し医療業務に支障のないように支援してまいりたいと考えております。</p> <p>④コロナ対策として3密を避けねばならないが、どのように避難所の対策を取るつもりか</p> <p>避難所内の新型コロナウイルス感染症対策は、避難者には出来る限り距離を取っていただき、施設の換気を十分に行い、マスクの着用や咳エチケットの徹底、手洗いや手指消毒の励行をしていただき、3密を避けるのが原則と考えております。</p> <p>特に、手すり等多くの人に触れる場所やトイレの消毒、適切なおみの処理、土足厳禁等を徹底し感染症の発生や拡大を防止してまいります。</p> <p>また、避難住民の健康状態管理に努め、何らかの症状が出現した場合は、他者との接触を避けるために、間仕切りや個室を利用して居住空間を分けるなどして感染拡大を防止することとしています。</p>
--	--

回答者：子ども未来部長

(担当課：子育て相談課)

<p>⑧自立援助ホームについて</p>	<p><b>【質問の具体的内容】</b></p> <p>⑧3月16日に奈良市議会の大会議室をお借りして「自立援助ホームについての勉強会」を開かせていただきました。</p> <p>4月からは女子の自立援助ホーム「ミモザの家」もスタートしました。市として何か連携できることはないでしょうか。</p> <p><b>【回答内容】</b></p> <p>⑧女子の自立援助ホーム、「ミモザの家」がスタートしましたが、市として何か連携できないでしょうか。</p> <p>児童福祉法第6条の3、児童福祉法第33条の6に基づく「児童自立生活援助事業」としての機能を有する「ミモザの家」が開設されたことにより、女子の自立援助の推進体制が強化されました。直接の管轄は奈良県となりますが、本市といたしましても、入所者への情報提供や情報連携並びに相談機関等の関係機関に繋げるなど、支援をしてまいります。</p>
---------------------	--

## 2、意見・要望

酒井孝江議員の意見・要望はありません。